

# 青木幸雄さん秋の叙勲「瑞宝単光章」受章

平成二十一年度秋の叙勲で、元仁淀川町消防団団長の青木幸雄さん（七十二歳・上土居第二）が、長年にわたり一貫して消防活動の第一線に立ち、水害・火災防除、消防力強化に献身的な努力を払われた多大の成果と功績により、瑞宝単光章を受章されました。

青木さんは、昭和三十四年に池川町消防団に入団し、平成二十年に退団されるまで、四十八年余

の長きにわたり時機に即した状況判断と決断をもって消防の任務遂行に当たられました。

昭和五十一年からは幹部として、情熱をもって団員の育成指導に努力し、資質向上と士気高揚に多大な成果をあげられました。

この受章について青木さんは「地域住民、消防団、高吾北消防署、役員関係者らたくさんの方々のおかげで、半世紀近くにわたって消防団員としての職務を全うすることができました。今回の受章は皆さんのご理

## 消防団で48年 常に第一線で消防活動



喜びをかみしめる青木さんご夫妻

解とご支援のたまものです。大変ありがたく光榮に感じています」と喜びを語りました。

平成十八年十月に兵庫県で開催された「第二十回国消防操法大会」に仁淀川町消防団団長として出席

つていました。平成十八年十月に兵庫県で開催された「第二十回国消防操法大会」に仁淀川町消防団団長として出席

るそうです。最後に青木さんは「やっぱり一番の功労者は家内かな」と笑顔。火災の時は自宅前の消防屯所までシャッターを開けに走り、時には団員やその家族の良き相談役として貢献してくれた奥様の美香笑さんに感謝していました。



十二月十二日には上土居第三の「お料理いち川」で受章祝賀会（主催仁淀川町消防団）が盛大に開催され、約百六十人が青木さんの栄誉をたたえました。

長年消防団で苦楽を共にした桐山雄吉元池川方面隊長から

この度は叙勲受章誠にありがとうございます。

非常時には率先して出動し、準備や後輩への指導など、迅速に抜きぬきまして。現役時代が懐かしく思い起こされます。

今後どうぞお元気で、心豊かな人生を送ってください。

### 【略 歴】

- 昭和34年 8月 池川町消防団入団
- 昭和51年 8月 池川町消防団班長
- 昭和59年 1月 池川町消防団部長
- 平成 7年 7月 池川町消防団分団長
- 平成15年 2月 池川町消防団団長
- 平成17年 8月 仁淀川町消防団副団長
- 平成18年 4月 仁淀川町消防団団長
- 平成20年 3月 退団

## 尾崎孝次郎さん・文故さんご夫妻(岩戸)が県産業技術功労表彰受賞

岩戸で製紙業を営む尾崎孝次郎さん・文故さんご夫妻が平成21年度高知県産業技術功労表彰を受賞されました。

この表彰は、県産業の振興・発展に特に功績が顕著な方(団体)の功績と功労を讃えるもので、尾崎さんご夫妻は、民芸や伝統産業の承継への功績が評価されての受賞となりました。

ご夫妻は長年にわたり昔のままの技法での手すき和紙製造に従事し、その道一筋に、国の無形文化財に認定された「土佐清帳紙」を県内で唯一守り続けています。

また、原料である楮の自家栽培は、今や県内屈指の生産量を誇る一方で、今まで県内の原料づくりの過程で実施されていなかった間引き、

芽欠き作業を行うなど、品質面の向上もなされました。

作業は文故さんが紙すきを担当、孝次郎さんが板付け天日乾燥(紙干し)を担当し、原料作りは家族皆で行っています。



知事表彰を受賞された尾崎さんご夫妻

## 第1回 仁淀川町中学生模擬議会

### 町づくり担う中学生が議会体験

11月26日 仁淀川町議会議場で「平成二十一年第一回仁淀川町中学生模擬議会」が行われ、吾川中、池川中、仁淀中の二、三年生議員十二人と大石弘秋町長はじめ町執行部が出席しました。

この模擬議会は当町では初めての試みで、住みよい魅力ある町づくりのために、子どもたちに町行政への関心と意識を高めてもらうと企画されました。

当日は安井隆志議長(仁淀中)の進行のもと、本番さながらに行われました。十一人の中学生議員が一般質問を行い、質問の要旨に応じて執行部が答弁しました。

一般質問は「給食の地産地消率」「校舎の耐震強度について」「中学校が統合された場合の場所の決め方」など自分たちに身近なものや、「お茶をはじめとする町特産物のブランド化」「高齢者に優しい町づくり」「若者定住に対する具体策」ほか町の将来に関するものなど様々でした。議員からは答弁に対する再質問や、



真剣な表情で一般質問をする中学生議員

思いがけない視点での提案も相次ぎ、執行部が少し慌てる場面もありました。

また議員以外の生徒二十二人も傍聴席で、町長や担当課長らの答弁に真剣な表情で聴き入っていました。

模擬議会閉会后、議長を務めた安井君は「町長さんや本物の執行部の人がいて、場の雰囲気にも慣れてなかったのが最初から最後まで緊張しっぱなしでしたが、しっかり議会を進めることができましたので達成感があります」と感想を聞かせてくれました。



答弁する大石町長

# 力強い女性の美しさ 27作品一堂に展示

11月20日～11月24日 旧池川町出身の彫刻家、大野良一さん（60歳・高知市）の作品二十七点を集めた「大野良一ふるさと展〜彫刻〜」が池川コミュニティセンターで開かれました。

大野さんの作品がこれほどの数を一度に展示されることは大変珍しく、期間中に訪れた約四百人は貴重な機会にじっくりと彫刻を鑑賞していました。

## 大野良一 ふるさと展〜彫刻〜



大野良一さんに説明を受ける児童

展示された作品はほとんどが大型の女性像で、かなりの迫力がありました。訪れた50代の女性は「最初見た時は圧倒されてびっくりしていました。でも見ているうちに何かほっとするし和みました」と感想を聞かせて

くれました。かなりふくよかな女性像を見て「これやったら私の方がスマート」と笑い合う女性グループの姿もあり、大野さんのご厚意で子どもたちは彫刻に直接触ってみたい、会場は和気あいあいとした雰囲気でした。



### 大野良一さん

高校3年生の時彫刻に出会い、40年近く制作を続けています。

雨ヶ森の峰、神楽など、ふるさとでの思い出が発想の原点になっているそうです。

### 【略歴】

昭和24年 旧池川町下土居生まれ

昭和61年 安居溪谷 乙女の像「泉」制作

### 現在

高知工業高等学校 総合デザイン科教諭

日本美術家連盟会員

高知県展彫刻部 無鑑査

## 100歳おめでとうございます

12月7日 大西の藤堂小樂さんが100歳の誕生日を迎え、大石弘秋町長から長寿祝いが贈られました。

藤堂さんは明治42年生まれ。今は亡きご主人（清長さん）と、百姓仕事をして生計を立てていたそうです。40代前半に小樂さんが大病を患ったことを機によろず屋「藤堂商店」を開き、91歳で店を閉めるまで1人で切り盛りしてきました。「地域の人びとがひいきにしてくれて、まあまあ繁盛しちよったよ」と生き生きとした表情で話を聞かせてくれました。

若い頃はバイオリン、現在は大正琴が趣味で、自分の知っている曲なら楽譜を見ずに何でも弾けるそうです。他にも生け花やちぎり絵などをし、毎日楽しく過ごしています。

100歳になっても足腰が丈夫で、本当にお元気な

藤堂さん。元気の秘訣は「好き嫌いなく何でも食べること、きれいな水と空気のおかげ」とのことです。

先日1人で屋根に上り、雨樋の掃除をしようとして「それだけは怖いきやめて」と同居している長男夫婦を困らせたほど。県外からお祝いにかけてきたご家族は「この負けん気と明るい性格があれば、あと10年は元気でおれるね」と笑顔でした。



とっても元気な藤堂さん